

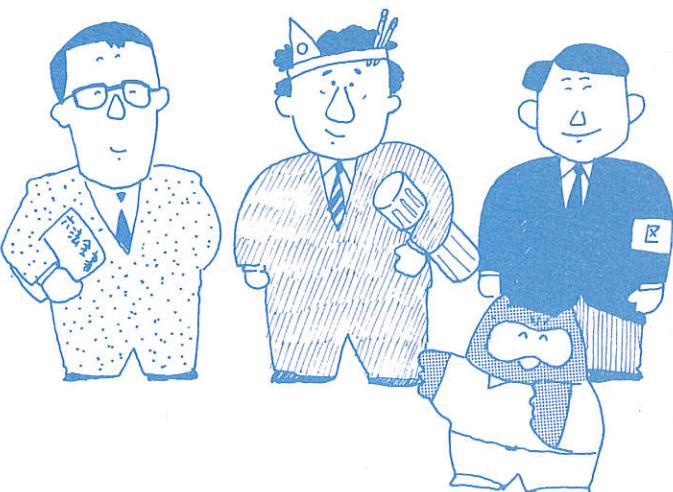
# あひらせ

建替え相談所

## ことしの予定

建て替えを思い立っても、設計事務所や工務店に知り合いがいなかったり、いきなり業者に相談するのはなんとなく不安だという方が多いと思います。そんな時頼りになるのが、建て替え相談所です。

この建て替え相談所はまちづくり公社が定期的に開催するもので、相談にはまちづくり公社の職員の他、建築士や弁護士が応じます。相談も納得いくまでじっくり応えて頂けますので、是非、ご利用ください。



●時間はいづれも午後1時～4時です。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
雑司が谷区民集会室		19日 ○		7日 ○		1日 ○		17日 ○		19日 ○		2日 ○
南池袋区民集会室	7日		2日		4日		6日		1日		2日	

○印は弁護士の相談日です。

# 雑司が谷

## まちづくりニュース

27  
'90-3



### ■花の香りにさそわれて■

春を告げる風の香りに誘われて、雑司が谷の虫たちも、そろそろ眠りから覚める3月です。あちらこちらの花の便りに、うきうきするのは虫たちだけではありません。

雑司が谷のまちづくりは、春風に乗って大きくふくらみかけています。これまで、長年にわたって培ってきた「まちづくりの種子」が、ようやく芽を出し、葉を広げようとしています。

一方、不燃化促進事業は、この3月でまる6年を過ぎようとしています。事業の期間はあと4年。そろそろ、時間が気になりはじめました。

●企画・発行

雑司が谷地区不燃化促進協議会

(財) 豊島区街づくり公社 ☎ 981-1111 内 2884 担当／牛田、蒲地  
豊島区都市整備部街づくり推進課 ☎ 981-1111 内 2864 担当／川尻、清水

●編集協力

(財) 都市防災研究所 ☎ 595-1545 担当／小川、小野

# 不燃化事業も あと4年



## ゆっくりと確実に

雑司が谷墓地周辺地区で、燃えないまちづくりとして「不燃化促進事業」が開始されたのが昭和59年ですが、早いもので、事業が始まってまる6年が経とうとしています。

この6年間に、地区では75棟の燃えない建物が完成し、不燃領域率も19.0%から34.4%にと、確実に不燃化は進み、その分、雑司が谷墓地の安全性も徐々にではありますか増して来ています。

まさに、ゆっくりと確実に、「燃えないまちづくり」は進んできました。その間には、地価の異常な高騰や、建築ブ

ームによる建築費の高騰など、建て替えにとってはあまり嬉しいニュースも沢山あり、建て替えを計画された方には思わず苦労をされた方も多いと思います。

区でも、そのような社会情勢に併せて、助成金の増額や、新たな助成制度や融資制度を作るなどして、みんなの建て替えのお役に立つように努力して参りました。

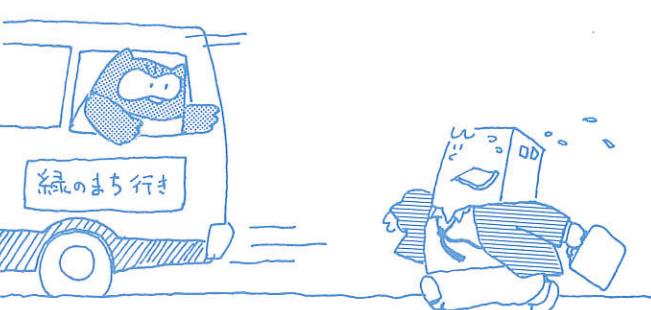
## 見えてきたゴール

不燃化促進事業は、国の補助を受けて区が実施している事業ですが、国の事業期間は10年間と定められています。事業では、10年間

の内に建て替えを行う方には助成金を差し上げることとしています。

これは、いつ起こるかわからない大地震から国民の生命と財産を守るために、一刻も早く不燃化を進める必要があることと、個人の建て替えを助成することに、税金を使うという事業の性格上、無期限に事業を続けることはできないという2つの理由から決められています。

その事業の実施期間が、ゴールまであと4年とせまっています。



## 今年もまた一歩

燃えない  
まちづくり

今年度、地区では15棟の建物が助成を受け建築されました。この建て替え等によって、不燃領域率も当初の19.0%から34.4%へと、大きく前進しました。

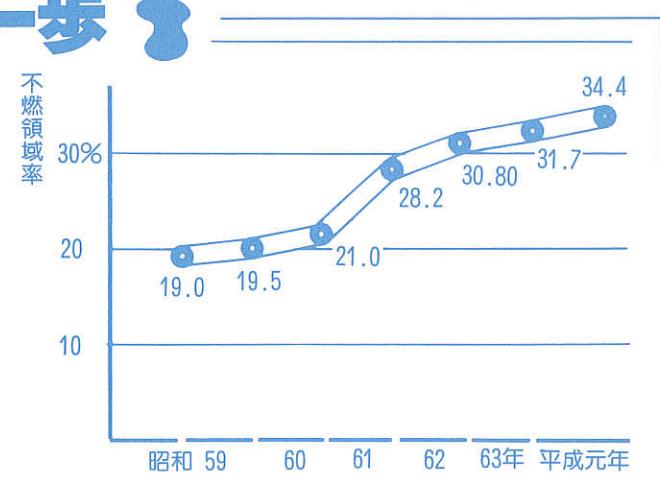
## 建て替えを計画中の方 はお早めに

区および街づくり公社では、事業の期間中に少しでも多くの方が建て替えられるように、さらにきめの細かい支援体制を整え、お手伝いしていきたいと考えています。

特に、現在行っている建て替え相談所やコンサルタント派遣制度が、もっと多くの方に利用して頂けるよう、工夫をして行きたいと思います。

また、不燃化促進事業と同時に、うるおいのあるまちづくりをめざしたさまざまな事業を、地元の皆さんといっしょに展開していくたいと思います。

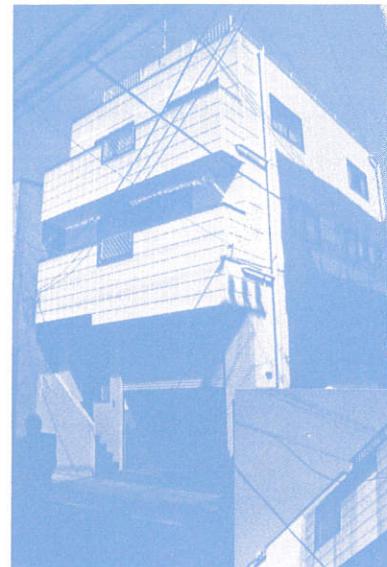
残りの4年間が、これまで以上にまちづくりとしての盛り上がりを持ち、多くの実りを地区にもたらすように努力いたします。



くぞくと

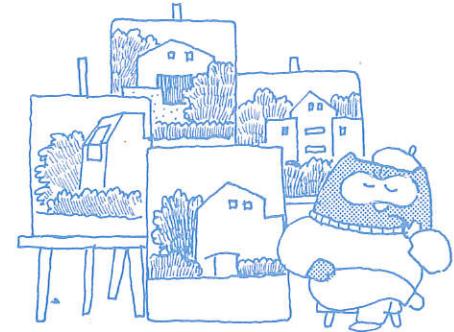
# 燃えない建物

PART 6

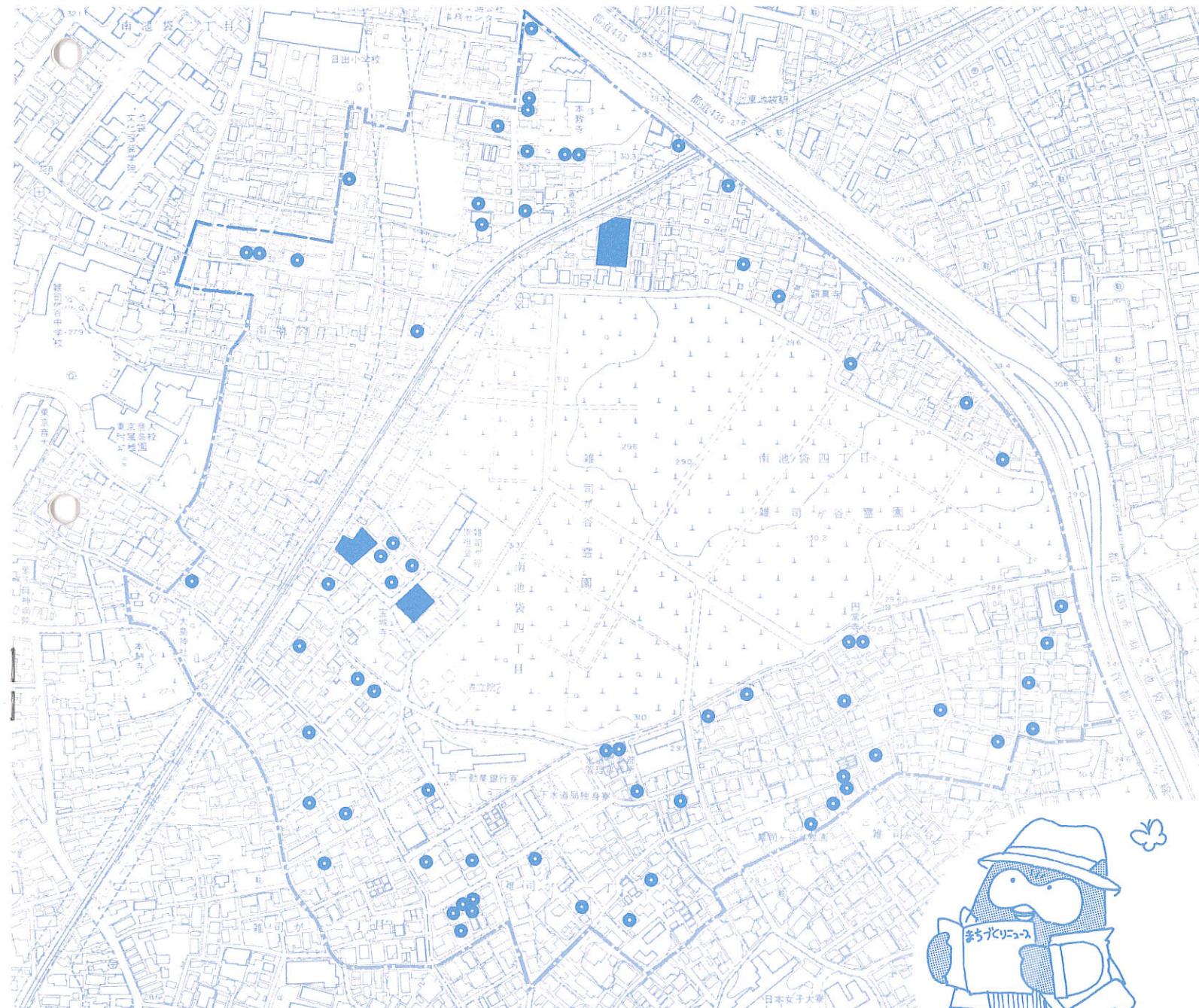


昨年に引き続き、これまでに地区で助成を受けた建物がどこにあるのか、まとめて紹介いたします。

春の暖かい日を選んで、ニュース片手に、燃えない建物めぐりをされてはいかがですか。



これまで完成した耐火建築物75棟を全て図面に入れてみました。



■は、事業が始ってから整備された公園です。

5



# まちづくり…ことしのあゆみ

地区では、今年度、さまざまなまちづくりが進められ、そのいくつかは具体的な成果として目に見えてきました。それらについてご紹介します。

## 緑のまちづくり

今年度、協議会から区に提案した「緑のまちづくり推進事業」については、前回のまちづくりニュースでご報告した通り、区から積極的な回答を頂きました。

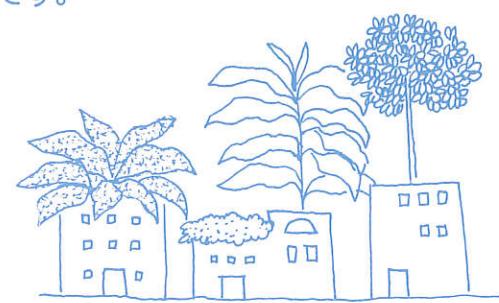
ロック摒撤去と生垣助成の見直しについては、立教大学地区からも同様の要望が出されており、区ではこの春からの対応をめざして検討を進めています。くわしくは、次回のまちづくりニュースでご報告できるものと思います。

また、公共施設の緑化については、地区内の公共施設の緑化について、区を要望していますが、とりあえず、雑司が谷児童館の緑化について、取り組んでいきたいと考えています。くわしい取り組み方については、協議会で検討し、次回の

まちづくりニュースでご報告する予定であります。

歴史と文化と公園を結ぶ散歩道についても、雑司が谷児童館がその交差点にあたり、その整備にお互いが深く係わるため、児童館の緑化といっしょに検討したいと考えています。

以上のように、緑のまちづくり推進事業は、平成2年度のまちづくりの重点目標として、積極的に取り組んでいく予定です。



## インナーリンク

墓地の緑を地区の緑として共有し、うるおいの核として活かそうというのインナーリンク(墓地回りのみち)です。イ



ンナーリンクの整備によって、現在の万年摒を生垣とし、災害時の安全性も確保できます。

インナーリンクについての地区的皆さんのご意向を伺い、その結果をとりまとめて、区長に要望したのが昭和62年12月ですが、その後、区では東京都との折衝を進め、昨年墓地周囲の測量を実施いたしました。

## ●歩道設置を運動中——東通り

東通りでは、狭い部分の拡幅事業が進みつつあります。拡幅事業は元の道路の線から両側に約90cmの幅を、区が買収しながら進められています。これまでに、買収されたのは10件、延長は81mです。これらの土地では、順次建て替えが進められ、既に4棟が完成、3棟が工事中となっています。

また、拡幅事業とは別に、東通りでは街づくり協議会が作られ、「街並みづくり」や「みちづくり」に取り組んでいます。昨年度はま

ちづくり協定について検討し、協定までこぎつけました。今年度は「みちづくり」として、歩道設置や部分的に残る対面通行部分の一方通行化に取り組んでいます。

歩道設置のために、協議会役員による交通量調査や署名運動、区や警察への要望書提出など、活発な協議会活動によって、東通りの歩道設置は実現に向けて大きく動きだしています。

## ●鬼子母神参道の整備

東京都が指定し、区が整備を進めている「歴史と文化の散歩道」のうち、グリーン大通りから東通りに抜ける道の整備は、3月の完成に向けて、現在最後の仕上げにかかっています。

また、歴史と文化の散歩道の池袋コースの中でも、特にハイライトといえるのが鬼子母

神ですが、その参道もあわせて整備されることになりました。

鬼子母神の参道と言えば、江戸時代から有名なけやき並木。そのけやき並木を活かしながら歩道を設置し、雰囲気に合うように石畳を中心とした舗装で仕上げられます。

## ●区立葬祭場

雑司が谷墓地の一角に、都有地の払い下げを受けて建設されていた区立葬祭場が完成しました。

葬祭場は、区民からの多くの要望により建設されたもので、鉄筋コンクリート造2階建て、雑司が谷の雰囲気に合わせシックな外観

となっています。

また、敷地の外周部にはインナーリンクの計画があるため、建物を後退して建築し、将来の整備に支障がないように考慮されています。